

第22回

十勝川中流部川づくり報告会

令和5年10月22日

十勝川中流部市民協働会議

令和5年度の活動報告

1. 活動報告

① 相生中島地区

② 帯広工業高校

③ 帯広農業高校

④ 光南水辺の楽校

⑤ その他活動

2. 十勝川かわまちづくり 活動報告

①相生中島地区 活動1回

No	場所	日付	内容
1	相生中島上流湿地	R5. 4. 18	ヤナギ幼木刈り取り

十勝川相生中島地区上流湿地のヤナギ刈り取り

日 時	令和5年4月18日(火)～ 5月21日(金)
場 所	十勝川相生中島上流湿地
目 的	<p>相生中島上流湿地は、十勝川の流下断面確保と再樹林化防止を目的に、平成24～25年度に掘削したことにより形成されました。</p> <p>平成28年8月の台風によって水域の大半が土砂に覆われ、半分程度に減少しました。この活動は、湿地環境維持を目的に行われ、今回で6回目となります。</p>
内 容	相生中島上流湿地の水際に生育していたヤナギ幼木の除去を行いました。



作業状況(相生中島地区上流湿地ヤナギ除去)



下流側除去前



下流側除去後



上流側除去前



上流側除去後

②帯広工業高校 活動7回

No	場所	日付	学年	内容
1	帯広工業高校他	R5. 5. 29	1年生	札内川における環境学習
2	相生ワンド	R5. 8. 21		相生中島地区 相生ワンド 横断測量
3	音更川合流点下流	R5. 9. 21	2年生	ヤナギ生育モニタリング
6	帯広工業高校	R5. 6. 20	3年生	防災学習
7	帯広工業高校他	R5. 8. 29		水文観測講習会

帯広工業高校1年生を対象にした札内川における環境学習

日時	令和5年5月29日（月）8：55～15：20
場所	現地見学：札内川ダム 座学：帯広工業高校 2Fパソコン室
内容	札内川懇談会の活動のサポートとして平成27年度から実施・継続してきた活動です。まず始めに札内川ダムの見学を行い、その後、懇談会の活動や札内川の自然再生モニタリングの目的、相生ワンドの測量箇所についての座学を行いました。
参加者	帯広工業高校1年生 36名 帯広開発建設部 4名 十勝川中流部市民協働会議 4名



事務局室瀬より
相生中島地区について説明



授業風景



授業風景

座 学



○札内川自然再生事業について
(帯広開発建設部 帯広河川事務所：赤坂指導官)



○札内川の河道について
(事務局：紅葉)



○相生ワンドの測量実習に向けて
(事務局：橋本)

現地見学



○札内川ダムに関する説明・質疑応答
(帯広開発建設部 札内川ダム管理支所：黛支所長)



○札内川ダム見学



○札内川ダムで記念撮影

帯広工業高校1年生 札内川懇談会支援として相生ワンドの横断測量

日時	令和5年8月21日（月） 8：55～15：20
場所	相生ワンド（十勝川と札内川の合流点付近）
内容	<p>河川横断測量を実施する活動は札内川懇談会が平成27年度から行っているものです。今年度は相生ワンドで実施しました。</p> <p>横断測量の結果とりまとめの座学を11月6日（月）の午後から帯広工業高校で実施する予定です。</p>
参加者	帯広工業高校1年生 36名：教員 5名 十勝川中流部市民協働会議 10名



事務局橋本より測量の説明



事務局央戸より2班への説明



生徒からの挨拶



横断測量箇所



1班 作業風景



2班 作業風景



3班 作業風景



4班 作業風景



5班 作業風景



5班 作業風景

帯広工業高校2年生 ヤナギ生育モニタリング

日 時	令和5年9月21日（木） 12：30～15：20
場 所	十勝川音更川合流点下流（十勝川左岸KP55.4付近）
内 容	<p>再樹林化防止や草地形成を目的として、音更川合流点下流の河畔林伐採直後にクサヨシ播種を行った箇所を対象に、帯広工業高校2年生とヤナギ生育モニタリングを行いました（河畔林伐採及びクサヨシ播種は令和3年度に実施）。</p> <p>対照区（未播種区）の方形区調査を行い、樹種、樹高、生育本数を記録しました。</p>
	<p>【2021年12月の播種概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 播種面積：13,200㎡・ 1区画：50×66m=3,300㎡→4区画 <p>区画1：クサヨシ1.023kg(0.31g/1㎡) + ピートモス924L(28L/100㎡)</p> <p>区画2：クサヨシ1.023kg + ピートモス924L + 化学肥料33kg(1kg/100㎡)</p> <p>区画3：クサヨシ1.023kg + ピートモス924L + 化学肥料83kg(2.5kg/100㎡)</p> <p>区画4：クサヨシ1.023kg + ピートモス924L + 化学肥料165kg(5kg/100㎡)</p>
参加者	帯広工業高校 38名 教員 2名 帯広開発建設部 帯広河川事務所 1名 十勝川中流部市民協働会議 8名

調査図面（全体図）



調査図面 (詳細図)



現地作業状況



ヤナギの種類の説明を受けている様子



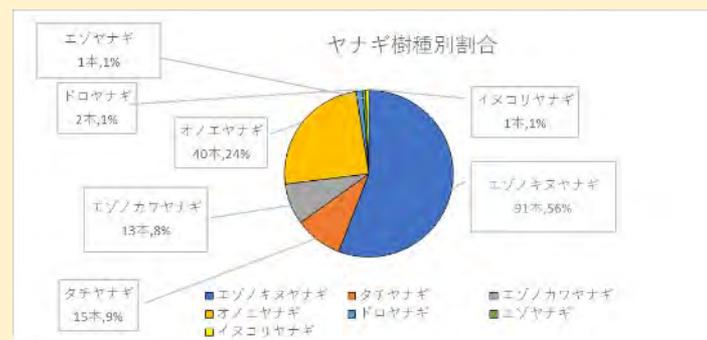
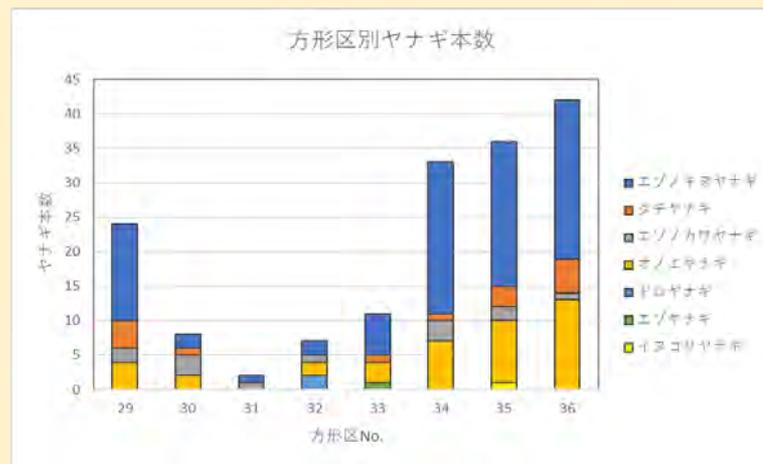
ヤナギの樹高を測っている様子



調査結果を記入している様子

調査結果

樹種/方形区No.(5m×5m)	29	30	31	32	33	34	35	36	合計
エゾノキヌヤナギ	14	2	1	2	6	22	21	23	91
タチヤナギ	4	1	0	0	1	1	3	5	15
エゾノカワヤナギ	2	3	1	1	0	3	2	1	13
オノエヤナギ	4	2	0	2	3	7	9	13	40
ドロヤナギ	0	0	0	2	0	0	0	0	2
エゾヤナギ	0	0	0	0	1	0	0	0	1
イヌコリヤナギ	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	24	8	2	7	11	33	36	42	163
1mあたりの本数	0.9	0.3	0.1	0.3	0.4	1.3	1.4	1.7	0.8



帯広工業高校3年生 防災授業

日時	令和5年6月20日（火） 12：30～15：20
場所	帯広工業高校 2Fパソコン室
内容	平成28年から環境土木科3年生を対象に、防災をテーマにした座学を行っています。帯広建設管理部、帯広市役所から北海道の管理河川と防災、帯広の防災体制について説明していただきました。最後に事務局の紅葉から河川防災について説明しました。
参加者	帯広工業高校 40名 帯広建設管理部 治水課 1名 帯広市役所 総務部 危機対策室 危機対策課 1名 十勝川中流部市民協働会議 3名



授業風景



授業風景



授業風景

講義内容について



講義1：北海道管理河川と防災について（帯広建設管理部 治水課：柳原主査）

- ・平成28年の台風による被害状況や復旧状況について説明をしていただきました。



講義2：帯広の防災体制について
（帯広市役所 総務部 危機対策室 危機対策課：上川氏）

- ・平成28年の台風による被害状況、「自助・共助・公助」の説明や帯広市の備えにについて説明をしていただきました。



講義3：河川防災について（事務局：紅葉）

- ・平成28年の台風被害や平成30年の胆振東部地震によるブラックアウトなどについて説明しました。

帯広工業高校3年生 水文観測講習会

日 時	令和5年8月29日（火） 8：55～15：20
場 所	実技実習：売買川下流部 座 学：帯広工業高校 2Fパソコン室
内 容	防災に関する知識を高めるために行っている活動も今年度3回目となります。今回は、(株)北開水工コンサルタント様のご協力を得て、水理学について現地踏査（流量観測、横断測量）、水理計算（流量計算）を行いました。
参加者	帯広工業高校 環境土木科3年生 40名 帯広開発建設部 治水課 2名 (株)北開水工コンサルタント 15名 十勝川中流部市民協働会議 4名



実習箇所



実習箇所

1. 流量観測実施に当たって

水門観測からデータを収集し防災情報などに活用している帯広開発建設部治水課の水野治水専門官から挨拶がありました。また、調査観測を行っている（株）北開水工コンサルタント様から流量観測の事前説明として観測の目的や実技実習に必要な機材類、作業方法、流量計算について説明していただきました。



水野治水専門官の挨拶
帯広開発建設部 治水課



流量観測の説明
(株)北開水工コンサルタント



授業風景

2. 低水流量観測実技実習

低水流量観測として横断測量と流速計を使った流量観測を行いました。



実習状況



横断測量の状況



水深及び流速の計測状況

2. 高水流量観測実技実習

高水流量観測として河川横断測量と浮子を使った流量観測を行いました。



浮子を使う流量観測の説明



浮子の投下状況



浮子の流速測定状況

3. 水文観測及び流量計算について

実際に行われている水文観測の紹介や目的、利活用方法について説明がありました。その後、本日観測したデータを基に売買川下流部の流量計算を行いました。



流量計算の説明
(株) 北開水エコンサルタント



流量計算の指導状況
(株) 北開水エコンサルタント

③帯広農業高校 活動1回

No	場所	日付	内容
1	相生中島上流湿地	R5. 7. 25	夏期魚類調査

帯広農業高校との相生中島上流湿地での魚類調査（夏期）

日 時	令和5年7月25日（火） 9：00～12：00
場 所	相生中島上流湿地
目 的	例年継続して実施してきた魚類調査を秋期に行うにあたり、今回は湿地の重要性や活動の意義などについて高校生に理解を深めてもらうことを目的に実施しました。
内 容	生物調査 1班：魚類・水生昆虫調査（水域内の魚類・水生昆虫の採取及び観察） 2班：トンボ類調査（飛行又は葉等に止まっているトンボ類の採取及び観察） 3班：植物観察（湿地特有の植物の観察）
参加者	帯広農業高校 十勝川中流部川づくり班：10名 帯広開発建設部 帯広河川事務所：4名 受注業者 アークコーポレーション(株)：10名 十勝川中流部市民協働会議：1名



記念撮影

実施状況



魚類・水生昆虫調査



トンボ類調査



植物観察



魚類・水生昆虫観察



トンボ類観察



植物観察

調査及び観察で確認された動植物 ※赤字は重要種

魚類・水生昆虫調査

魚類

科名	種名
ドジョウ	エゾホトケドジョウ
	ドジョウ又はキタドジョウ
トゲウオ	トミヨ
ハゼ	ジュズカケハゼ
コイ	ウグイ属の一種
	モツゴ

水生昆虫

科名	種名
モノアラガイ	モノアラガイ
コオイムシ	オオコオイムシ
ミズムシ	ミズムシ
タイコウチ	ヒメミズカマキリ
ゲンゴロウ	ゲンゴロウモドキ属の一種(幼虫)
ヤンマ	ルリボシヤンマ属の一種(幼虫)
トンボ	トンボ科の一種(幼虫)
エゾトンボ	エゾトンボ科の一種(幼虫)

トンボ類調査

科名	種名
トンボ	ミヤマアカネ
	マユタテアカネ
	アキアカネ
	ノシメトンボ
サナエトンボ	コサナエ
イトトンボ	アオイトトンボ
	ルリイトトンボ
	クロイトトンボ

植物観察

科名	種名
カヤツリグサ	アブラガヤ
	フトイ
イネ	ヨシ
	クサヨシ
	オギ
オモダカ	サジオモダカ
ミソハギ	エゾミソハギ
ガマ	ガマ
シソ	ハッカ
ヤナギ	イヌコリヤナギ
	エゾノキヌヤナギ
	オノエヤナギ
	エゾヤナギ
	ケショウヤナギ
	ネコヤナギ
	ドロヤナギ

④ 光南水辺の楽校 活動2回

No	場所	日付	内容
1	光南水辺の楽校	R5. 7. 4	実のなる木付近の除草作業
2		R5. 7. 21	川で遊ぼう 札内川・光南地区水辺の楽校

光南地区 水辺の楽校「実のなる木」周辺の除草

日時 令和5年7月4日（火）

内容 光南地区水辺の楽校「実のなる木」の植樹は、平成29年度～令和2年度に植樹会を行い、その後あじさい保育園の園児や地域の方々の散策の場として利用していただいています。
この活動は、水辺の楽校が健全に活用されることを願い、散策ルートと植樹した木々の周りの除草を行ったものです。



川で遊ぼう！ 札内川・光南地区 水辺の楽校

日時	令和5年7月21日（金）9：30～12：00
場所	光南水辺の楽校（札内川）
参加者	・あじさい保育園：園児53名、大人7名 ・運営人員（計19名） 帯広河川事務所3名 十勝川河川協力団体連合14名 札内川懇談会2名
イベント内容	水生動物等の観察会
主催	あじさい保育園、帯広NP028、NP0法人十勝多自然ネット、十勝川中流部市民協働会議、帯広開発建設部 帯広河川事務所
協力	札内川懇談会



記念撮影



水生動物を捕獲している様子



水生動物を捕獲している様子

水生動物等の観察会

実際に園児と捕獲した水生動物を水槽に入れて準備しておき、札内川懇談会メンバーの石垣氏から参加者に水生動物について説明をしていただきました。



札内川懇談会メンバーの石垣氏より説明



観察の様子



観察の様子



観察の様子

⑤その他 活動2回

No	場所	日付	内容
1	札内川ダム	R5. 7. 31 R5. 8. 28	ツバメ観察会
2	仙台市	R5. 9. 30-10. 1	第15回 いい川・いい川づくりワークショップ

札内川ダムでのツバメ類観察会 1回目

日 時	令和5年7月31日（月） 9：00～12：00
場 所	札内川ダム
内 容	中札内村観光関係者を対象に、札内川ダムで営巣するイワツバメ、アマツバメをダム堤体から観察を行いました。 当日はゴムボートから観察する予定でしたが、雷注意報が発令されたことから、堤体からの観察としました。
参加者	中札内村観光関係者 3名 帯広開発建設部 帯広河川事務所 4名 十勝川中流部市民協働会議 4名 日本野鳥の会十勝支部 6名



当日の行程について説明



ツバメ類の説明



観察したイワツバメ

観察会の様子



ダム堤体から観察



ダム堤体から観察



ダム堤体から観察



アマツバメ



イワツバメ

札内川ダムでのツバメ類観察会 2回目

日 時	令和5年8月28日（水） 9：00～12：00
場 所	札内川ダム
内 容	中札内村観光関係者を対象に、札内川ダムで営巣するイワツバメ、アマツバメをダム堤体やゴムボートから観察を行いました。 この活動は令和5年度「水の日」・「水の週間」上下流交流事業（水の週間実行委員会）から助成を受けて行っています。
参加者	中札内村観光関係者 7名 帯広開発建設部 帯広河川事務所 2名 十勝ネイチャーセンター 2名 十勝川中流部市民協働会議 4名



当日の行程について説明



ゴムボートの準備



札内川ダム

観察会の様子



アマツバメ



イワツバメ



第15回 いい川・いい川づくりワークショップ in 東北

日 時	令和5年9月30日（土）10：30～18：00、 10月1日（日）9：00～15：00
場 所	東北大学 青葉山キャンパス（仙台市青葉区）
内 容	<p>7月7日の川の日を記念行事として始まり、今回で通算25回目となります。全国のいい川づくりを行っている個人や団体が日頃の活動を発表して、“より良いいい川づくり”について全国規模で共有できる場となります。</p> <p>今年は、全国から31団体が参加し、十勝からは2団体が参加しました。</p>
9月30日	開会式 → 全体発表 → テーブル選考 → 全体集会（交流懇親会あり）
10月1日	復活選考 → 入選者発表会 → 全体選考 → 公開討論会 → 表彰式 → 閉会



開会式



会場の様子

ワークショップの様子

十勝川中流部市民協働会議
室瀬 秋宏、関 海月



全体発表



ポスターセッション

十勝川中流部市民協働会議
黒井 孝明



ポスターセッション



投票



表彰式



広松伝賞